

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

国際社会への貢献とその継続的拡大

売上高
3,000億円売上高営業利益率
15%以上ROIC
12%以上ROE
10%以上

② 中長期の経営戦略

1. 事業ポートフォリオの進化

e-MOTOを事業コンセプトとし、多様な「動き」のソリューション提供による事業領域拡大。モビリティ・マシーナリー・メディカルの3つのM領域に注力。M&Aや外部提携を積極活用

3. 自動車電装機器の拡販

パワーウィンドウ・パワーシート・パーキングブレーキ・ミラー用等の既存製品分野でシェア拡大。標準化戦略による多用途展開

2. 3つのM領域への集中

モビリティではEV化に対応した小型軽量高効率モーター。マシーナリーではロボット・産業機器向けブラシレスモーター。メディカルでは歯ブラシ・人工呼吸器等医療機器用

4. グローバルリスクマネジメント

世界5極事業体制とダイバーシティを活かしたマブチグローバル経営。人材交流・情報共有強化で開発生産販売体制を構築

③ 対処すべき課題

① 事業ポートフォリオ進化

- ・ 2025年4月マブチオービーギアシステム、7月マブチマイクロテック…
- ・ ユニット提供ニーズに対応した多様な動きのソリューション提供
- ・ M&A・外部提携を積極活用した事業領域拡大

② 経営環境への対応

- ・ 世界経済の不透明感増加と地政学的リスク対応
- ・ 中国自動車補助金政策縮小・欧米関税政策の影響を受けた需要減対策
- ・ インド等新興国での自動車生産台数成長への対応

③ サステナビリティ目標達成

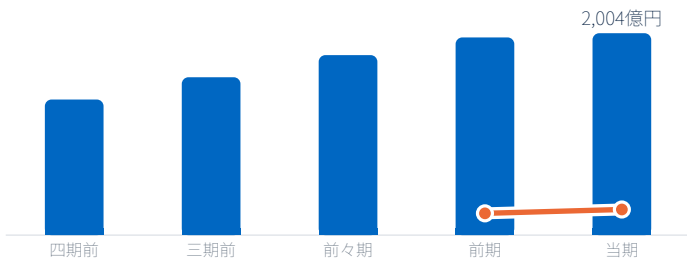
- ・ 2023年比温室効果ガス排出量Scope1,2で42%削減（2030年度目標）
- ・ SDGs貢献製品の販売拡大とサプライチェーン全体でのCSR推進
- ・ 全ての人が活躍できる環境実現と社会的責任の遂行

面接で使えるポイント

- ・ 経営理念『国際社会への貢献とその継続的拡大』を軸に、小型モーター専業から3つのM領域（モビリティ・マシーナリー・メディカ…
- ・ 2025年4月以降3件の買収でe-MOTOコンセプト実現。複数技術の融合でソリューション提供力強化
- ・ 2030年売上高3,000億円の経営計画2030達成に向け、革新的技術と国際分業体制で世界小型モーター市場をリード

証券コード 6592

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,004億円営業利益率
12.7%財務健康度
82点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 63.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
764万円

電気機器内 78位/225社

平均年齢
43.3歳

電気機器内 109位/225社

平均勤続
15.9年

電気機器内 116位/225社

女性管理職
10.3%

電気機器内 33位/182社

男性育休
73.7%

電気機器内 108位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

